

(別紙6)

沖縄県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

慶良間諸島は、元タイノシシも生息しておらず、狩猟が行われていなかった地域であり、狩猟免許の所持者も少なく、捕獲の担い手が不足している状況である。また、沖縄県においては、認定鳥獣捕獲等事業者は不在である。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

捕獲の担い手となる狩猟免許所持者や認定を目指す法人の捕獲従事者等の育成を行うために、鳥獣の捕獲等に係る安全管理体制や、従事者の技能及び知識を一定基準に適合させ、適正かつ効率的にイノシシ等の捕獲等を実施できるよう、経験豊富な講師を招聘し、研修会を開催した。

内容：座学及び現地（技能及び知識の向上、安全管理）

講師：2名

参加人数（延べ）：30人

回数：5回

注：実施した研修会等の内容及び参加人数等を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等

参加者の技能及び知識の向上に寄与した。

また、狩猟免許取得者も増加傾向にあることから、効果的に捕獲を実施できるよう、地元による捕獲や連携体制の構築を図る必要がある。

注：1の課題等も踏まえ、取組の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。